

南魚沼市水道事業の現状と課題

～第1回 水道事業の経営状況と水道施設の紹介～

【問合せ】水道課 ☎774・3141

水道は、みんなが飲むものだから、安全でなければなりません。

水道は、みんなでするものだから、豊富でなければなりません。

水道は、みんなの命のもとだから、守り続けなければなりません。

水道は、みんなのお金で作ったものだから、大切にしなければなりません。

「蛇口をひねるだけで、いつでもきれいな水が、勢いよく出てくる。」

このような水道の当たり前を維持するため、多くの水道施設が整備されています。これらの水道施設は、みなさんが毎月支払う水道料金によって支えられているのです。

私たちの生活に欠かすことのできない重要な水道ですが、社会環境の変化に伴い、水道事業を取り巻く状況は全国的に厳しくなっています。

人口減や節水による水需要の減少、施設や水道管の老朽化による更新費用の増加、水質管理の複雑化など、多くの課題に直面しています。

これらの課題に取り組み、安心・安全な水道の供給を維持し、次世代に引継ぐためには、みなさんのご理解とご協力が不可欠になることから、市の水道事業における現状と課題を市報の1日号で4回にわたり特集で掲載します。

今回は、市の水道事業の経営状況と水道施設について紹介します。

水道事業は水道料金で運営されています

24時間安全な水道水を届けるために、水源から水道メータまで多くの施設が必要になり、これらの施設を維持していくには、多額の資金が必要です。水道事業は原則として水道料金によって賄われています。

現在、市の一般用水道料金は10m³まで基本料金2,460円です。(10m³を超えると、1m³につき246円を加算)これは新潟県内の市町村で、最も高額な水道料金になっています。

1か月10m³当たりの一般用水道料金（令和元年度末 県内20市）

（単位：円）

